

No	14												
指標名	褥瘡推定発生率												
定義	<p>(分子)入院後褥瘡が発生した患者数 (分母)調査日の在院患者数</p> <p>※褥瘡の発生・・・「日本褥瘡学会用認定表」に準拠 ※調査日・・・毎年度4月、7月、10月、1月の第2火曜日</p>												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院</th> <th>全国中央値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年度</td> <td>0.007</td> <td>0.011</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>0.005</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>0.006</td> <td>0.011</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2015年度、2016年度、2017年度における当院のデータ (全国)2015年度、2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点 ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院	全国中央値	2015年度	0.007	0.011	2016年度	0.005	0.014	2017年度	0.006	0.011
年度	当院	全国中央値											
2015年度	0.007	0.011											
2016年度	0.005	0.014											
2017年度	0.006	0.011											
コメント (解説)	<p>褥瘡推定発生率とは、病院に入院してから新たに褥瘡が発生した率を表しています。入院時に皮膚の状態について評価を行い、マニュアルに沿って必要なケアや観察を行います。</p> <p>リスクが高い場合には、専門の皮膚排泄ケア認定看護師と一緒に介入を行います。</p> <p>褥瘡が発生した場合には、医師、看護師、栄養士、薬剤師、リハビリスタッフなどから構成される創傷ケア委員会メンバーが各専門分野の知識を生かしサポートし、褥瘡対策チームと共同してケアを行う体制となっています。</p>												